

1. 【開催案内】共同主催国際会議「第29回低温物理学国際会議」
2. 【開催案内】公開シンポジウム（オンラインシンポジウムシリーズ）
「地球の未来を切り拓く—育種学の役割—」（第一回）
3. 【文部科学省】令和4年版科学技術・イノベーション白書の公表について

■-----
【開催案内】共同主催国際会議「第29回低温物理学国際会議」
-----■

会期：令和4年8月18日（木）～8月24日（水）[7日間]

場所：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）及びオンライン

日本学術会議と第29回低温物理学国際会議組織委員会、一般社団法人日本物理学会が共同主催する「第29回低温物理学国際会議」が8月18日（木）より、札幌コンベンションセンター及びオンラインで開催されます。当国際会議では、「低温物理学」をメインテーマに、量子気体・液体及び固体、超伝導、磁性および量子相、ナノ物理学と量子情報、低温技術とデバイス応用、を主要題目として、研究発表と討論が行われることとなっており、その成果は物理学の発展に大きく資するものと期待されます。また、本会議には68カ国・地域から約1,200名の参加が見込まれています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、8月21日（日）に「超伝導が未来を変える：超伝導研究の最前線」が開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただきますようお願いいたします。

第29回低温物理学国際会議 市民公開講座

「超伝導が未来を変える：超伝導研究の最前線」

日時：令和4年8月21日（日）13:00～15:00

会場：オンライン

参加費：無料

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ (<https://www.lt29.jp/index.html>)

○市民公開講座 (https://www.lt29.jp/public_lecture_jp.html)

【問合せ先】浅野泰寛 北海道大学工学研究院 応用物理学部門

(Tel : 011-706-6792、Mail : [asano\(a\)eng.hokudai.ac.jp](mailto:asano(a)eng.hokudai.ac.jp))

※(a)を@にしてお送りください。

【開催案内】公開シンポジウム（オンラインシンポジウムシリーズ）

「地球の未来を切り拓く—育種学の役割—」（第一回）

【日時】2022年7月7日（木）15:00～17:00

【場所】オンライン開催（Zoom ウェビナー）

【主催】日本学術会議日本学術会議農学委員会育種学分科会

【共催】一般社団法人日本育種学会

【開催趣旨】

育種学は育種に関する技術開発と原理の追求を通じて、持続的な社会の実現を目指す学問分野です。SDGsには「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「気候変動に具体的な対策を」等の目標が掲げられています。一方、人口増加・地球温暖化・紛争等による食糧生産を取り巻く状況は不安定化しています。育種学や関連する農学分野がこのような現状の打開にどのように貢献できるのかは、産官学の垣根を越えて中長期的な視点で考えてゆかなければならない大きな課題です。また、育種学の将来を担う若い世代とともに考えたい問題でもあります。

日本学術会議育種学分科会および日本育種学会では、オンラインシンポジウムシリーズ「地球の未来を切り拓く—育種学の役割—」を開催します。このシンポジウムシリーズでは多様な専門分野の講師をお招きし、農業や社会をとりまく国内外の状況について話題提供していただきます。シンポジウム後のパネルディスカッションでは、育種学やその関連分野がどう持続的な社会の実現に貢献するかを考えます。

本オンラインシンポジウムシリーズは月に一回程度開催する予定です。第一回目は7月7日（木）に開催します。参加を希望される方は下記のリンクから登録してください。多数の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/325-s-0707-2.html>

【参加費】無料

【定員】500名

【申込み】要・事前申込み

参加をご希望の方は、以下より事前参加申込みをお願いします。

Zoomの最大視聴人数に達し次第参加登録を締め切ります。

参加を希望される方は早めに登録してください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_CN0M38LSQlyLgoBXlx9BTA

*登録完了後、ウェビナー視聴案内のメールが届きます。

【問い合わせ先】

佐藤豊（大学共同利用機関情報・システム研究機構国立遺伝学研究所）

yusato(a)nig.ac.jp

※(a)を@にしてお送りください。

■-----
【文部科学省】令和4年版科学技術・イノベーション白書の公表について
-----■

令和4年6月14日、文部科学省が取りまとめを行っている「令和4年版科学技術・イノベーション白書」が閣議決定されました。

今回の白書では、第1部で「我が国の研究力 ～科学技術立国の実現～」を特集しています。研究力を測る指標として用いられる論文指標や各種データの推移について、主要国と国際比較をすることで、我が国の研究力の現状と課題を分析するとともに、近年の主要施策の振り返りを行っています。例えば、我が国の論文数の増減に、教員の研究時間や教員数、博士課程在籍者数などの複合的な要因が影響を与えるといった分析も紹介しています。また、こうした分析を踏まえた、大学ファンドの創設や地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージといった「科学技術立国の実現」に向けた最新の取組を紹介しています。

本白書では、イラストやコラム等を多く盛り込むことで、親しみやすい内容になるよう工夫しました。一人でも多くの方に御覧いただき、本白書が科学技術・イノベーションの重要性や、関連施策への理解を深めるきっかけとなりますと大変幸いです。

【詳細はこちら】

令和4年版白書 HP :

https://stg.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa202201/1421221_00001.html

Society 5.0 イラスト解説動画（令和4年版白書の扉絵で使用されています）:

<https://www.youtube.com/watch?v=NpK08gtYihw>

【お問い合わせ先】

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発戦略課 総括係

TEL: 03-6734-4012

E-mail: [kagihaku\(a\)mext.go.jp](mailto:kagihaku(a)mext.go.jp)

※(a)を@にしてお送りください。

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等へ

の転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは2021年10月1日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたしました。

新URL：<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34